

Next Stage 1 日本語リライト演習

「花粉症」

春は花粉症にかかっている人にとっては毎年憂鬱な季節がやってくる。今年の花粉は多いらしいが、それは昨年夏が猛暑だったからで、花粉は都会の空気の中に潜入していて、冷夏の年は、花粉の飛散量も少なく、花粉症の発症も抑えられていたが、今年はその逆で、これまで花粉症とは無縁だった人もリスクが増大するのだという。

花粉症とは、植物の花粉が原因で起こるアレルギー性の病気のことであり、日本ではスギ花粉症が代表的だが、これは戦後に造林されたスギの木が多く、そのスギ林はちょうど今花粉を大量に飛散させることができる樹齢に達し、花粉症患者の増加と悪化につながっていて、うっとうしいのだ。

リライト例——1

毎年春になると、花粉症にかかっている人にとっては憂鬱な季節がやってくる。今年の花粉は多いらしい。昨年の夏が猛暑だったことが原因だという。花粉は都会の空気の中に潜入している。冷夏の年は花粉の飛散量も少なく、花粉症の発症も抑えられるのだが、今年はその逆の状況なのだ。そのため、これまで花粉症とは無縁だった人も、花粉症にかかるリスクが増えるのだという。

花粉症とは、植物の花粉が引き起こすアレルギー性の病気で、日本ではスギ花粉症がその代表だ。日本には戦後に造林されたスギの木が多いのだが、そのスギ林がちょうど今、花粉を大量に飛ばせる樹齢に達している。したがって、花粉症患者が増え、症状は悪化し、春はうっとうしい季節になるのだ。

リライト例——2

春が来る。花粉症患者にはおなじみの、憂鬱な季節の到来だ。昨年の夏は猛暑だったので、今年花粉が多く飛ぶようだ。花粉は都会の空気の中に潜んでいる。冷夏の年なら花粉の飛散量は少ないし、発症も抑えられる。しかし、今年はその間は問屋が卸さない。これまで「私には関係ないわ」と言っていた人でさえ、発症のリスクにさらされるのだ。

花粉症はアレルギー性の病気で、植物の花粉が原因となる。日本ではスギ花粉が代表的だが、それは戦後にスギ造林が推奨されたためである。しかも、そのスギの木が、大量に花粉を飛散できる樹齢に達している。花粉症患者が増え、症状が悪化しているのはそのせいなのだ。